

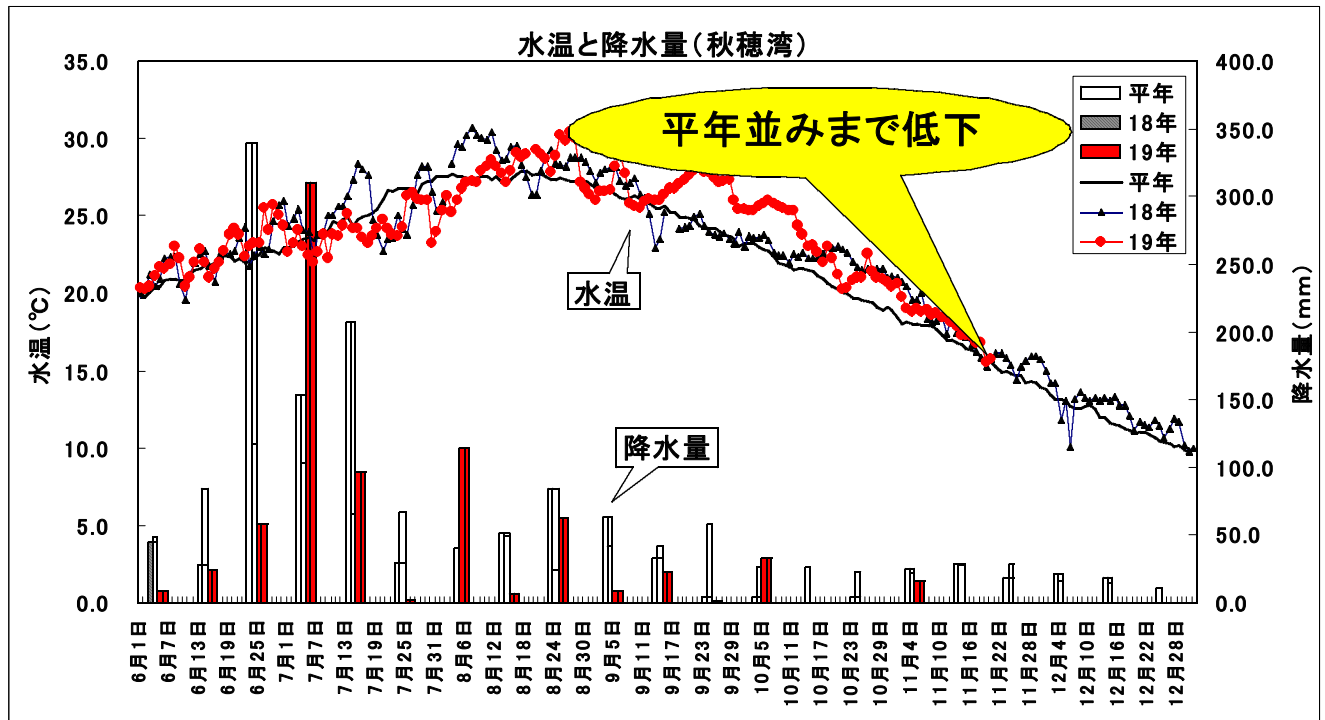
ノリ情報(5号)

平成19年(2007年)11月21日
 山口県水産研究センター
 内海研究部

1 気象・海況

(1) 水温と降水量(秋穂湾)

水温は11月中旬以降、順調な低下傾向を示し、平年並みまで低下しました。11月20日の秋穂湾の水温は15.7℃となっています。各漁場の11月18日の水温は下関地区13.5～14.0℃、宇部地区で13.5～17.0℃、防府地区18.0℃となっています。11月上旬の降水量は16.2mmを記録し、以降、散発的な降水が認められます。



(2) 栄養塩

地区	DIN	PO ₄ -P
下関地区	平均115.4ガンマ(低114.2～高116.5ガンマ) 平年比98%、前年比74%	平均20.5ガンマ(低19.8～高21.1ガンマ) 平年比154%、前年比121%
宇部地区	平均40.3ガンマ(低5.5～高354.6ガンマ) 平年比59%、前年比33%	平均8.3ガンマ(低4.3～高11.2ガンマ) 平年比84%、前年比119%
防府地区	平均56.9ガンマ(低55.3～高58.5ガンマ) 平年比121%、前年比114%	平均11.4ガンマ(低10.9～高11.8ガンマ) 平年比117%、前年比163%

※宇部地区では著しくかけ離れた測定値を平均値から除外してあります。

2 養殖状況

高泊地区のタンチサイは概ね摘採を終了し、今後は水温の低下を見て、在来種に移行する予定。下関地区では11月14日から、藤曲地区では11月16日から1回目の摘採が開始されました。葉体の色調は良好ですが、カモによる食害が酷いとのこと。宇部地区では11月19日から単張りが開始されました。全体的に色調は回復しましたが、一部海域ではボラによる食害が目立つ模様。病害は一部海域でシログサレが確認されていますが、アカグサレ、ツボ等の病害は確認されていません。

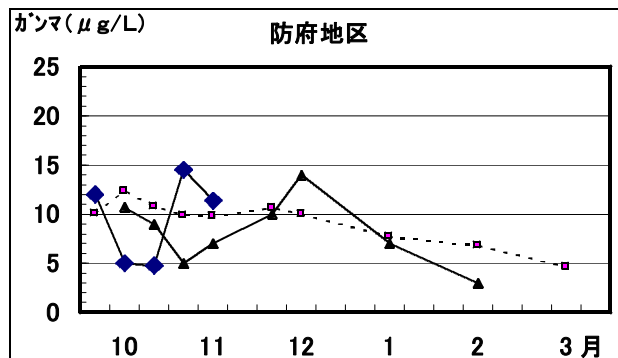
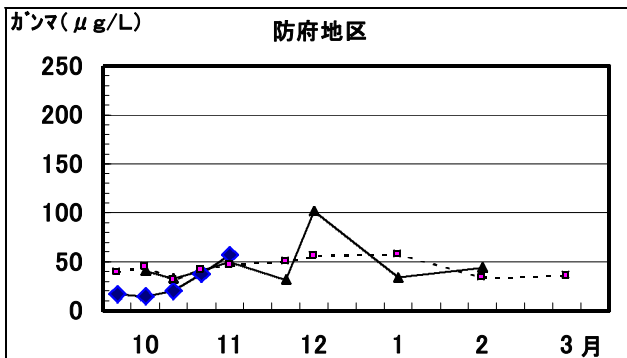
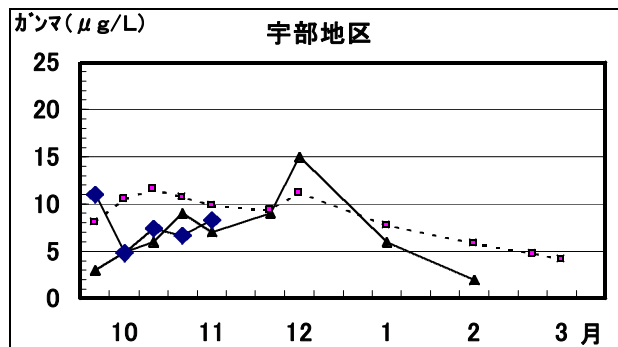
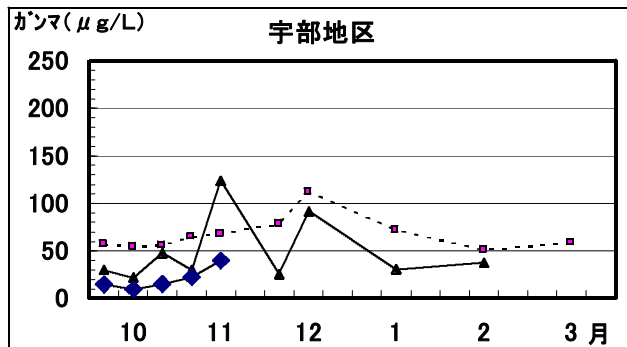
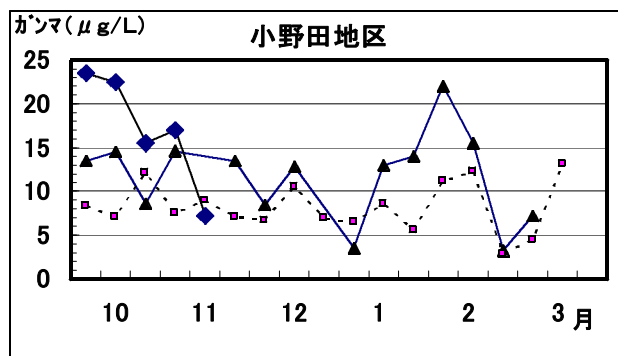
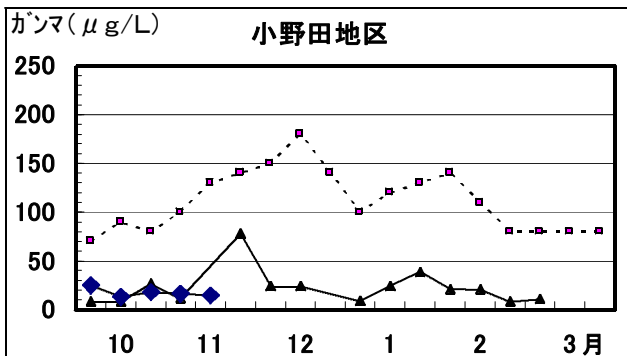
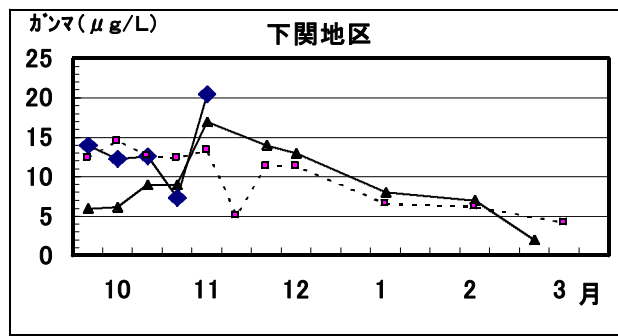
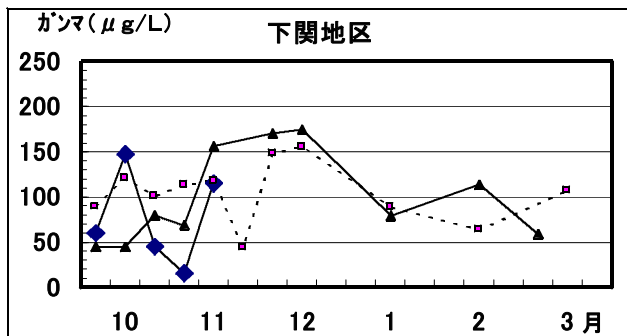
3 注意事項

朝夕の冷え込みが増してきましたが、下関地方気象台の発表では、向こう一週間は高気圧に覆われ、降水は少なく、日中の気温は平年を上回ると予想されています。気温差の大きい日が続くとバリカン症の発生が懸念されますので、早めの摘採作業を心がけて下さい。

栄養塩調査結果(11月18日)

(DIN)

(PO₄-P)



◆—19年度、▲—昨年度、■…10年平均 (※小野田地区分析:山陽小野田市環境調査センター)